



(四日市)

赤堀城は、室町時代の応永年間に築城され、安土桃山時代の天正三年（一五七五）、また一説によると、天正一二年に廃絶したといわれている。

城跡は、市街地の標高約二・五mの低地に所在し、都市化のために全くその面影をとどめていないが、今回都市計画道路改良工事に伴いトレンチによる発掘調査を行った。

その結果、礎石建物跡二

三重・赤堀城跡

あかほり

- 1 所在地 三重県四日市市城東町
- 2 調査期間 一九八四年（昭59）九月～二月
- 3 発掘機関 四日市市教育委員会
- 4 調査担当者 北野 保
- 5 遺跡の種類 城跡
- 6 遺跡の年代 一五世紀～一六世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

赤堀城は、室町時代の応永年間に築城され、安土桃山時代の天正三年（一五七五）、また一説によると、天正一二年に廃絶したといわ

棟や土壇及び溝とともに、土師器・青磁・天目茶碗・陶器などの土器が発見された。そのうちの一点、土師器皿の底部外面には、顔を左側に向けた側面図の状態のねずみの絵と「福つ三」の文字を描いた墨書が認められた。土製品には、小さな大形土製品が二点ある。木製品も多く、「飛車」「桂馬」の将棋の駒二点をはじめ、漆器碗、箸、すりこぎ、櫛、下駄などがある。

木簡は、これらの遺物に混じって出土したが、下部は欠損している。

8 木簡の积文・内容

(1) ・ 〰 〰 〰 〰 〰

・ 〰 〰 〰 〰 〰

(90)×27×2 039

(北野 保)